



2019.8.1

No. 202 5月臨時会 6月定例会

議長に 金丸三郎氏
副議長に 植田年美氏 当選
新しい市議会構成決まる!



写真（議場にて：令和元年6月13日撮影）

CONTENTS

- 新たな市議会の構成が決まりました!
..... ②～③ページ
- 市議会議員一般選挙から5月臨時会までの流れ
..... ④ページ
- 5月臨時会の審議結果／人事案件... ⑤ページ
- 6月定例会の概要／市長所信表明要旨
..... ⑥ページ
- 市政に関する質問 ⑦～⑫ページ
- 議会を傍聴して ⑫ページ
- 常任委員会審査の概要..... ⑬ページ
- 6月定例会の審議結果／請願審査結果
..... ⑭ページ
- 意見書..... ⑮ページ
- 議会日誌／9月定例会の予定 ⑯ページ

構成が決まりました！

議長・副議長

～開かれた議会を目指して～

第100代議長
金丸 三郎



令和元年5月臨時会
において、第100代議長、
第111代副議長に選任され
ましたこと、この上なく

光栄であり、心から感謝申
し上げるとともに、その使命と
職責の重さを一層痛感し、身の引き
締まる思いでございます。

さて、本年は「令和」の元号のも
と、新たな「時」を刻みはじめた
ころであり、甲府市においても、開
府500年という歴史的な年を迎え
るとともに、中核市への移行「元年」
となる記念すべき年でもあります。

議会といたしましても、市民に開
かれた議会とするための議会報告会
の開催や、議員間での議論の場を設
けて市民の声を生かした政策提言を行
っていくなど、本市の更なる発展と
市民福祉の向上に、誠心誠意努力を
いたす覚悟でございます。

市民の皆様におかれ
ましては、市議会
に対する一層

のご理解とご
協力を賜り
ますようお願い
いたします。



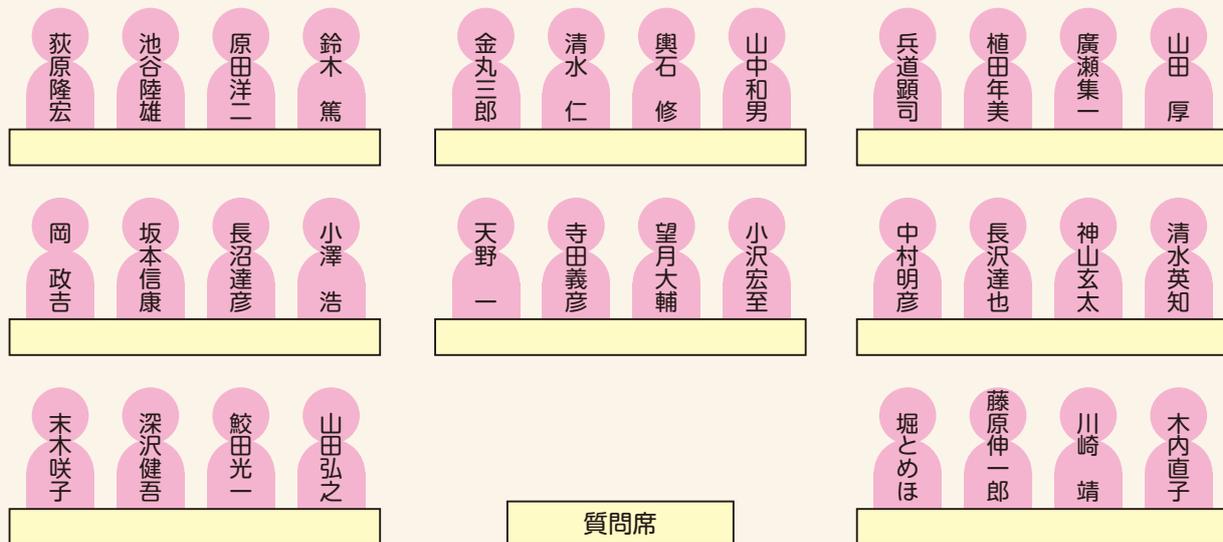
第111代副議長
植田 年美

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を調査します。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 原田洋二 | 兵道顕司 | 廣瀬集一 | 廣瀬集一 |
| 鈴木篤 | | | |
| 長沼達彦 | | | |
| 末木咲子 | | | |
| 輿石修 | | | |
| 山中和男 | | | |
| 天野一 | | | |
| 中村明彦 | | | |
| 神山玄太 | | | |
| 清水英知 | | | |

議席



新たな市議会の

常任委員会の構成

民生文教委員会

福祉保健部・子ども未来部・市立甲府病院・教育委員会・市民部のうち国民健康保険に関するものを調査します。



副委員長
政友クラブ
深沢健吾



委員長
公明党
中村明彦



創政こうふ
寺田義彦



創政こうふ
天野一



政友クラブ
岡政吉



社会民主党
山田厚



日本共産党
木内直子



こつふ未来
川崎靖

総務委員会

市長直轄組織・総務部・企画部・市民部（国民健康保険を除く）・会計室・議会事務局・公平委員会・選挙管理委員会・監査委員等に関するものを調査します。



副委員長
こつふ未来
神山玄太



委員長
政友クラブ
長沼達彦



創政こうふ
金丸三郎



政友クラブ
鮫田光一



政友クラブ
坂本信康



日本共産党
清水英知



公明党
兵道顕司



創政こうふ
清水仁

環境水道委員会

環境部・上下水道局に関するものを調査します。



副委員長
無所属
山田弘之



委員長
創政こうふ
山中和男



政友クラブ
小澤浩



政友クラブ
鈴木篤



政友クラブ
原田洋二



こつふ未来
廣瀬集一



公明党
植田年美



創政こうふ
小沢宏至

経済建設委員会

産業部・まちづくり部・農業委員会に関するものを調査します。



副委員長
創政こうふ
望月大輔



委員長
公明党
長沼達也



政友クラブ
末木咲子



政友クラブ
池谷陸雄



政友クラブ
荻原隆宏



こつふ未来
藤原伸一郎



公明党
堀とめほ



創政こうふ
奥石修

市議会議員一般選挙

甲府市議会議員一般選挙が行われ、32名の当選人が確定しました。

4/21

市議会議員一般選挙 から5月臨時会までの 流れ



当選証書付与式の様子

4/23

当選証書付与式

選挙管理委員長から32名の当選人に当選証書が付与されました。

全員協議会

臨時会の招集請求や甲府市議会申し合わせ事項などについて協議しました。

5/10



全員協議会の様子



所信表明会の様子

5/22
AM

所信表明会

5月臨時会の正副議長選挙に向けた所信表明会を開催しました。

本市議会では初の開催となり、市民に開かれた議会の実現のため、各会派代表者等から構成された世話人会が開催し、運営にあたりました。

5月臨時会

改選後の初議会となる令和元年5月臨時会を開会し、正副議長選挙を行いました。

また、常任委員会委員の選任（3ページ参照）など議会の構成と、市長から提案された補正予算、条例の一部改正などについての4案件を審議し、提案された案件については、いずれも当局原案のとおり承認・可決・同意しました。

5/22
PM



議長選挙の開票の様子

令和元年5月臨時会 審議結果

件名等	議決月日	結果	政友会	創政会	公明党	こふ未来	日本共産党	社会民主党	無所属	
議案第50号 専決処分について(平成30年度甲府市一般会計補正予算(第8号))	5月22日	承認	○	○	○	○	○	○	○	
議案第51号 専決処分について(甲府市市税条例等の一部を改正する条例制定について)	//	//	○	○	○	○	○	○	○	
議案第52号 甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について	//	可決	○	○	○	○	○	○	○	
議案第53号 監査委員の選任について	//	同意	○	○	○	○	○	○	○	
甲議第2号 議会運営委員会委員の選任について	//	選任	○	○	○	○	○	○	○	
甲議第3号 常任委員会委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	
甲選第2号 議長選挙について	//	当選	投票の結果 第100代議長当選者 金丸三郎							
甲選第3号 副議長選挙について	//	//	投票の結果 第111代副議長当選者 植田年美							
甲選第4号 甲府地区広域行政事務組合議会議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	
甲選第5号 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	
甲選第6号 東八代広域行政事務組合議会議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	
甲選第7号 山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○	○	

○賛成 ×反対

- ◆議会運営委員会委員の選任者…2 ページに掲載
- ◆常任委員会委員の選任者…3 ページに掲載
- ◆甲府地区広域行政事務組合議会議員の選挙当選者
鈴木 篤 坂本信康 長沼達彦 深沢健吾 輿石 修 小沢宏至
望月大輔 植田年美 長沢達也 神山玄太 藤原伸一郎 木内直子
- ◆甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の選挙当選者
池谷陸雄 鈴木 篤 小澤 浩 山中和男 寺田義彦 中村明彦
川崎 靖 木内直子
- ◆東八代広域行政事務組合議会議員の選挙当選者
池谷陸雄 天野 一
- ◆山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙当選者
深沢健吾

人事案件

議会選出監査委員の選任



末木咲子



**甲府市議会では、お子様連れでも
本会議を傍聴することができます!!!**

お子様がぐずった時などには、
別室をご用意しておりますので、
ご利用ください。
(モニターで視聴できます)



甲府市議会は、6月定例会を6月13日から6月26日までの14日間の日程で行いました。

令和元年度甲府市一般会計補正予算（第1号）、甲府市森林環境譲与税基金条例制定についてなど、市長から提案された13案件を審議し、すべて可決・同意しました。

主な条例は、甲府市森林環境譲与税基金条例制定についてで、平成31年度税制改正において導入された森林環境譲与税を、森林の整備等の施策の財源に確実に充てることを目的に基金として積み立て、適正に管理・運用していくため地方自治法の規定に基づき定めるものです。

主な補正予算は、令和元年度甲府市一般会計補正予算（第1号）で、消費税率の引き上げに伴い実施されるプレミアム付商品券の発行・運営等に係る経費の増額等の補正となっています。

6月定例会の概要

こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTの概要

元気スタイル1「こども輝くまち」を創る

これまでの子育て支援に加え、「子育て」を力強く応援し、未来を担う子ども達が夢や希望を持ちながら、充実した教育環境のもとで目を輝かせて学び、心豊かにそしてたくましく成長できるまちを創ります。

元気スタイル2「健康といきがいのまち」を創る

市民一人ひとりが、住み慣れた地域で「いきがい」や「きずな」を大切にしながら、いつまでも健やかで活躍できる「元気City こうふ」を創ります。

元気スタイル3「女性生きいきのまち」を創る

個性や能力を活かしながら、職場、地域、家庭など様々なステージで活躍する女性を応援し、それぞれが思い描くライフスタイルを実現できるまちを創ります。

元気スタイル4「潤いと活力あるまち」を創る

地域資源の魅力や地場産業の競争力を高めて、人や新たな産業を呼び込むとともに、リニア時代を見据えた都市基盤の整備や、安全安心な地域づくりを進め、賑わいと活力があふれるまちを創ります。

元気スタイル5「故郷が好きなまち」を創る

開府500年を契機に甲府市の宝である歴史や伝統・文化等を未来にしっかりと継承するとともに、未来を託す人材（人財）の育成や地域資源の掘り起こしなど新たな宝を創造し、故郷こうふを大切に思うまちを創ります。

元気スタイル6「世界がつながるまち」を創る

国際教育の充実により国際感覚のあるグローバルな人材を育成するとともに、外国人留学生やインバウンドによる地域活力の増進を図り、世界から人が集まるまちを創ります。

元気スタイル7「タフで優しい市役所」を創る

中核市甲府の役割を果たせる人材の育成と持続可能な行財政運営を進めるとともに、市民に寄り添い、市民と協働のまちづくりを推進し、市民に信頼される市役所を創ります。

樋口雄一市長 所信表明要旨

現在本市は、少子高齢化や人口減少など数々の難局に直面しており、将来にわたり安定した住民サービスを提供し、市民が健康的で文化的な生活を送り続けられるよう持続可能なまちづくりに向けた取組が必須となっております。



こうしたことから、全ての市民が「故郷こうふ」を誇りに思い、将来に夢や希望を持って暮らしていけるよう市民と行政が一丸となり、これまでの枠に捉われない新たな発想、新たな連携のもと、子育て・子育て支援の強化や「稼ぐ・稼げる」につながる産業の振興、そして健康づくりの推進など、「笑顔あふれるまち甲府」の創生に向けて、地域の実情に沿った甲府らしい施策を展開し、推進してまいります。

中核市として新たな一歩を踏み出し

た今、変化し続ける時代のニーズに的確に答え、山積する地域課題に果敢に挑戦する中で、「市民の笑顔とまちの元気」があふれるまちづくりに向けて、是が非でも実行するという思いを込めた施策を「こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT」として取りまとめ、市民の皆様にお示しするとともに、開府500年を迎えた誇るべき「故郷こうふ」の輝かしい未来を創ってまいります。

市 政 に 関 す る 質 問



政友クラブ
代表質問 (一括)

長沼 達彦

新たな行政計画について

質問 Q こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTをもとに、具体的にどのような取組を進め、どのような想いで市長が目指す「笑顔あふれるまち甲府」に元気をプラスしていくのか伺います。

弁答 A 本プロジェクトは、誰もが未来に夢や希望を持ち、一層笑顔と元気があふれるまちとして次の時代に引き継いでいきたいとの想いを込め策定したところであり、〝子ども輝くまち〟創りでは、(仮称)子ども条例の制定や子どもの運動能力向上への取組等、〝女性活きいきのまち〟創りでは、(仮称)日本女性会議2021 in 甲府の開催や女性の就業や起業の応援等、〝潤いと活力あるまち〟創りでは、リニア新時代を見据えた都市環境の創出等を進めるなど、行政各分野に元気をプラスしてまいります。

今後、皆様信頼される〝タフで優しい市役所〟創りを進め、

市民の笑顔とまちの元気創りに取り組んでまいります。

健康危機への対応について

質問 Q 甲府市健康支援センターでの感染症や食中毒の予防と発生時の対応について伺います。

弁答 A 健康危機を未然防止するため、感染症や食中毒の予防に関する啓発活動や出前講座を実施しており、特に暑くなるこれからの時期は、宿泊施設等の一斉監視を実施し衛生管理を徹底するとともに、食品衛生責任者を対象に、食中毒の防止対策を中心とした講習会も実施します。

また、食中毒等が発生した場合は、迅速な原因究明と被害の拡大防止を図るため、速やかに疫学調査につなげる連絡体制を構築するなど、関係部署と一体となった対応に努めてまいります。

感染症が発生した場合には、新たな発生予防やまん延の防止等に努めるなど、甲府市感染症情報公表マニュアルに沿った対応を図ってまいります。



その他の質問事項

・大規模災害時における二次的な健康被害の予防について 他



創政こうふ
代表質問 (分割)

清水 仁

市長の政治姿勢について

質問 Q こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTにおける人口減少・少子高齢化への対応について伺います。

弁答 A 本プロジェクトでは、子育てに加え、子育てを力強く応援するとともに、女性が活躍できる社会の構築に努めるなど、誰もが住み慣れた地域でいきがいやきずなを大切にしながらいつまでも健やかで活躍できる元気にCityこうふの実現を目指します。

また、将来を担うひとつとづくりとして、故郷こうふを大切に思う人材を育むとともに、地域産業の活性化を図り、これからも成長し発展する潤いと活力あるまちづくりを推進します。

人口減少・少子高齢化に歯止めをかけるためには、あらゆる施策を総動員した取組が重要であるため、本プロジェクトにおける取組を着実に実施し、市民の明るい未来に責任が持てる持続可能なまち

づくりに全力を注いでまいります。

地場産業の振興策について

質問 Q 地場産業の活性化を図り地域経済を発展させることが重要だと考えますが、地場産品の販路開拓について伺います。

弁答 A 本年2月に開催した甲府ジュエリー海外販路開拓支援事業では、タイ国ジュエリー業界のバイヤーと本市ジュエリー業者との複数の商談成立等、多くの成果が得られたものと考えており、この本市とタイ国のジュエリー業界における関係性をより強固なものとするため、市長自らがタイ国へ出向くトップセールスを初めて実施します。

また、国内外での各種展示会等への地場産品の出展に係る支援や海外販路開拓等に向けたセミナーの斡旋に加え、オール甲府市産のスパークリングワインについても販路拡大に努める中、地場産業の更なる振興を図ってまいります。



その他の質問事項

・新たな甲府市洪水ハザードマップについて 他

※一問一答...一問ごとに質疑応答を行う。

分割...質問項目ごとに質疑応答を行う。

一括...質問項目すべてを質問し、一括で答弁を行う。



公明党
代表質問 (分制)
中村 明彦

食品ロス削減に向けた取組について

質問 フードバンク活動の支援など、食品ロス削減推進法の基本的施策を踏まえ、食品ロス削減推進計画にどのように取り組まれるのか、見解を伺います。

併答 本市はこれまで、家庭にに向けては、毎月30日は冷蔵庫内の食品の消費期限をチェック、毎月10日は食材を使い切るクッキングデーとして、また、乾杯から30分間、お開き10分前から料理を楽しむ時間を設けるといった「もったいない! 30・10運動」の啓発や、小学校におけるモデル校での給食の食べ残し量削減のための取組等、食品ロスの削減を推進しているところですが、食品ロス削減推進計画については、基本的施策と位置付けられているフードバンク活動等への支援を含め、国や県の動向等を注視する中で、計画の策定について検討してまいります。

小中学校体育館への冷暖房設備の設置について

質問 小中学校の体育館への冷暖房設備の設置を要望しますが、見解を伺います。また、スポルトクーラーの設置について、ご所見を伺います。

併答 本市では、全市立小中学校の普通教室等への冷暖房設備の設置を終えたところです。一方、体育館については、建物自体が冷暖房設備の設置を想定した構造ではなく、効果的に冷暖房を行うためには大規模な改修が必要となりますので、国等の動向を注視する中で、引き続きの検討課題としてまいります。

スポットクーラーについては、既に設置している他都市への聞き取り調査の結果、風によるスポーツ活動への影響や、音が大きいため集会や講演会等での使用が難しいなど、幾つかの課題があることから、引き続き調査・研究を重ねてまいります。

その他の質問事項

● 子どものインフルエンザ予防接種費用への公費助成について 他



こうふ未来
代表質問 (一括)
廣瀬 集一

昇仙峡の日本遺産登録申請について

質問 「自然」について、史跡名勝天然記念物保護法が施行されて100年目の記念すべき年ですが、昇仙峡の日本遺産登録申請について見解を伺います。

併答 日本遺産の登録には、ストーリー性が重要視されており、昇仙峡地域には宝飾産業発展の礎となった金峰山周辺での水晶採掘とその研磨の伝統や特別名勝である日本一の深谷美等、本市のストーリーを語りうる十分な有形・無形の文化財が存在します。

このことから、日本遺産の申請に値すると判断し、来年1月の申請に向け、調査・研究や協議を重ね、鋭意準備を進めてまいります。

水道水の水源管理における山梨大学との連携について

質問 「甲府城下でも美味しい水」を求め工夫されてきた」と記念誌にありますが、山梨大学との連携事業による甲府市水道水涵養域の基礎調査研究の報告を受け、今後の水源管理と連携事業の予定について伺います。

併答 調査・研究の結果、荒川上流域は、本流や支流の水質に大きな変化はなくダム湖にも富栄養化が見られず水源として健全であり、昭和水源周辺の地下水は、釜無川の伏流水と盆地内の降雨浸透水により構成され、水量も十分にあることがわかりました。

長期的には、二つの水源とも水量の減少等も予想されるため、今後とも監視と調査・研究を継続することで、変化が現れた場合には早期に対応することが可能となることから、引き続き山梨大学との連携事業により調査・研究を継続実施し、水質保全に努めてまいります。

その他の質問事項

● 地域の歴史と文化の継承について 他





日本共産党
代表質問（分割）

清水 英知

幼児教育・保育無償化における副食費について

質問 幼児教育・保育無償化により、副食費が無償化対象外となることで負担増となる世帯の見通しについて伺います。また、副食費の助成と、実費徴収による保育士等の事務負担増への対策を求めますが、見解を伺います。

併答 3歳以上児の世帯で、副食費が免除されない年収360万円以上相当世帯のうち、本市独自の保育料の軽減制度の適用を受けている世帯の中には、副食費の新たな負担も想定されます。こうした中、副食費に対する助成は、保育料及び副食費について免除される範囲が拡大されるため、その全体の影響等を勘案し、国の制度に沿って対応してまいります。また、副食費の実費徴収による事務負担については、既に保育所等の各施設では様々な費用の実費徴収を行っており、過度な負担にはならないものと考えています。

国民健康保険について

質問 一般会計からの繰入も含め国民健康保険料を引き下げることで、また、経済的な理由で保険料を納め切れない方にも被保険者証を発行することにより受診抑制を防ぐことを求めますが、見解を伺います。

併答 国民健康保険事業は、構造的な課題を抱え、極めて厳しい財政運営を強いられているところであり、保険料については一般会計からの現行の法定及び法定外の繰入を基準とし、国民健康保険事業費納付金や本市保健事業費等を勘案し決定してまいります。また、短期保険者証及び被保険者資格証明書は、納付催告等に応じられない世帯に対して交付しているところであり、短期被保険者証は、今年度より有効期間を6ヶ月に延長し納付相談等の機会を確保しており、資格証明書の交付は、事前に相談の機会を設けるなどの対応を行っています。

その他の質問事項

・補聴器購入への支援について



他



政友クラブ
一般質問（分割）

小澤 浩

小江戸甲府の夏祭りについて

質問 4回目を迎える小江戸甲府の夏祭りの企画内容として、このふ開府500年記念事業や第4回「山の日」記念全国大会Yamashiroと連携したイベント等について伺います。

併答 本年は、8月10日を前夜祭、8月11日を本祭りとして2日間にわたり開催し、大型球体スクリーンをメイン会場に設置するとともに、前夜祭では、こふ開府500年を祝い、本市出身の人気歌手によるステージ等、本祭りでは、小江戸コスプレコンテストや雪を降らせるスノーマシンの設置等を考えており、打ち上げ花火は両日実施してまいります。また、第4回「山の日」記念全国大会Yamashiroの歓迎フェスティバルでは、丸太切りやかなげずり体験等、多くの来場者が楽しみながら、改めて山の恵みに感謝する気持ちを想起させる機会としてまいります。

キャッシュレス化の推進について

質問 こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTに位置付けたキャッシュレス化の推進では、どのような施策を展開していくのか伺います。

併答 市内の小売業、飲食業、サービス業等を対象とした実態調査を実施するとともに、本年10月に予定されている消費税率の引き上げに伴うキャッシュレス・消費者還元事業の制度説明会やキャッシュレス化の促進に向けたセミナーを開催します。

また、キャッシュレス決済事業者と連携し、モデル事業として、観光地や中心商店街において、希望する店舗に決済端末機等を導入しその効果を検証するなど、導入促進へとつなげてまいります。これらの取組を進めることにより、キャッシュレス化の推進に積極的に取り組んでまいります。

その他の質問事項

・安全・安心まちづくり事業について 他





政友クラブ
一般質問 (分割)

鮫田 光一

リニア駅と周辺のまちづくりについて

質問 Q 長崎山梨県知事のリニアに関する所信表明の後、本市にどのような説明がされ、本市として今後どのように取り組まれるのか、市長の見解を伺います。

回答 A 山梨県から、(仮称)リニアやまなしビジョンの策定に取り組むこと、リニア駅の位置は客観的な数字に基づき議論することなどの説明がありました。

私は、リニア駅は現在の大大津町地内が最適であると考えていることから、リニア駅の位置に関して、これまで積み重ねてきた議論を再確認するとともに、多角的な視点から更なる検証を行い、その効果が山梨県及び本市全体の発展につながるものであることの説明を行う必要性を感じています。

今後、市民の皆様のご意見をお聞きする中で、山梨県及び関係市町と連携しリニアを活かしたまちづくりに取り組んでまいります。

リニア中央新幹線の防音防騒音対策について

質問 Q 中道地区区間への防音防騒音対策について、本市がJR東海や山梨県へ要望した状況とその回答、山梨県からJR東海への要望の有無、また、他の地区から本市への設置要望の状況について伺います。

回答 A 騒音対策については、地域住民の生活環境の保全や不安の解消が最優先と考え、山梨県には新幹線鉄道騒音に係る環境基準の住居地域に相当する地域指定を、JR東海には地域住民の理解が得られる音源対策を求めています。また、山梨県はJR東海に適切な環境保全対策を求めていくとしており、JR東海は関係自治体と協議し最終的な防音防騒音対策の配置を決定するとしています。

なお、要望書の提出状況は中道地区のみですが、他の地区においても設置の声があることから、引き続きJR東海に対策を求めてまいります。

その他の質問事項

・甲府市全域での空き家の有効活用に向けた対策について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)

天野 一

児童虐待の防止対策について

質問 Q 全国的に児童虐待が深刻化している中で、本市の児童虐待防止に向けた取組と、課題及び役割について伺います。

回答 A 児童虐待の防止対策については、子どもの安全確認や養育状況の調査等とともに、要保護児童対策地域協議会を随時開催し、早期の対応に努めています。

また、未然防止には問題を抱える家庭の早期発見と養育支援を行うことが市町村の大きな役割であり、課題でもあると考えています。こうした役割を踏まえ、関係機関との緊密な連携を図り、継続的な支援を行っているところですが、重篤な事件により子どもの未来が奪われることのないよう、虐待防止対策に全力で取り組むことに加え、子どもの権利擁護に対する意識醸成を図り、全ての大人が地域ぐるみで子どもの成長を見守り、応援する(仮称)子ども条例を今年度制定することを目指します。

濁川の河川改修について

質問 Q 今後予想される集中豪雨に対する濁川の治水安全度、河川内のしゅんせつや樹木の伐採等の必要性、山梨県との連携状況について伺います。

回答 A 省路橋から相生交差点まで改修工事に伴い、治水安全度が順次確保される見込みです。

改修工事が完了している区間は、河川内の水が流れる面積を広くするため、今年度、一部区間の土砂をしゅんせつする工事が山梨県において予定されています。

水防対策としては、危機管理型簡易水位計の設置が進められており、より多くの地点の水位情報が得られることとなり、早期の避難行動につながると考えています。今後、濁川水系改修促進期成同盟会を通じ早期改修を山梨県に働きかけるとともに、山梨県と連携して国へ要望活動を行うてまいります。

その他の質問事項

・登下校時における児童・生徒等の防犯対策の充実について 他





創政こうふ
一般質問 (分割)

寺田 義彦

災害時の避難支援について

質問 Q 災害時における高齢者や障がい者の方などへの避難支援について、これまでの取組と今後の対策をお聞かせください。

回答 A 本市では、避難が困難な高齢者や障がい者の方が早期に安全な場所に避難できるように、避難行動要支援者名簿を作成しており、対象者本人から同意を得る中で、避難支援に携わる方々と情報共有を図っています。

また、避難行動要支援者一人ひとりの所在や状況等を記載した個別計画書の作成を各地区関係者に依頼するとともに、避難支援のための体制づくりに努めています。更に、指定避難所への介護・障がい者用トイレやプライバシーを確保する間仕切りの配備等、避難所環境の向上に取り組んでいます。今後、過去の災害を教訓とする新たな製品等について、その有効性や活用事例等に関する情報を収集してまいります。

消防団本部拠点施設の整備について

質問 Q 地域における本部拠点施設整備の考え方と、甲運分団の本部拠点施設移転の状況について伺います。

回答 A 本部拠点施設は、消防車等の格納場所や災害時の参集場所等としてその活動を支えており、老朽化した施設は建築年次が古いものから経年劣化の状況により、必要な規模等を満たす用地が確保できた地区の本部拠点施設について整備を行っています。

こうした中、甲運分団の本部拠点施設は、東公民館西側に用地が確保できたことから令和2年度中を目途に新たな本部拠点施設を建設することとし、その費用を補正予算案として提出したところです。災害対応を担う消防団の充実・強化は、地域の消防防災活動を行う上で重要となることから、今後も消防団が円滑に活動できる環境づくりに努めてまいります。



その他の質問事項

・運転免許返納後の高齢者の移動手段確保について 他



公明党
一般質問 (分割)

長沢 達也

認知症対策について

質問 Q 政府は新しい認知症施策の大綱を取りまとめたところですが、認知症の方やご家族に対する本市の施策の現状と更なる取組について伺います。

回答 A 本市では、甲府市認知症支援総合対策実施方針を策定し、認知症サポーターの養成や、専門職同士の顔の見える関係づくり交流会の開催等、認知症の方やご家族に寄り添った各種対策に取り組んでいます。

本市の認知症の高齢者数は、4月1日現在で7810人、2025年には更に800人強増加すると推計しており、認知症施策の更なる推進が重要となっていることから、認知症の予防と認知症の方が住み慣れた地域で尊厳が守られ、暮らし続けていける共生の推進に向け、既存施策の更なる拡充を模索するとともに、新たな事業展開を模索する中で、認知症対策の充実に取り組んでまいります。

高齢者のためのフレイル予防について

質問 Q 高齢者の健康維持に向けたフレイル予防教室の詳細と、本市のフレイル予防についての考えを伺います。

回答 A フレイル予防教室は、予防に向けた支援と、地域の関係団体が予防に取り組めるよう担い手を育成することを目的として実施し、今年度は、フレイル傾向にある高齢者の方を対象に意識改革と行動変容を促進するため、リハビリテーションの専門職等が改善に向けた個別の計画を作成し、実施結果の評価と指導を行います。

また、フレイル予防の担い手として活躍いただくために、理解を深め気軽に楽しく取り組めるプログラム作成などをメニューとした講習会等を開催します。今後は、高齢になっても生活の質を保ち、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、フレイル予防の取組を推進してまいります。



その他の質問事項

・本市の核兵器廃絶平和都市宣言について 他



こうふ未来
一般質問（分割）

川崎 靖

インド料理店とまちなかの活性化について

質問 Q マスコミによく取り上げられていて、インド料理店が甲府の新たな名物となる認識はありますか。また、インドタウンの形成を後押しし、新たな魅力を創出することで中心市街地の活性化に寄与すると考えますが、見解を伺います。

回答 A インド料理店は、様々なイベントへの出店も多く見られ、テレビ番組でも注目されるようになってきました。

インド料理をはじめとする特定の国の料理を扱う店が集まり新たな食文化がまちの名物となることは話題性があり、にぎわいの創出につながるため、まちなかの活性化に寄与するものと考えています。このことから、中心市街地の空き店舗に新たに出店を希望される方に対する家賃助成や、中心市街地活性化を図るためのイベントへの助成があることを積極的に周知

する中で、まちなかの活性化を後押ししてまいります。

動物愛護に関わる取組について

質問 Q 犬、猫の殺処分ゼロに向けた動物愛護に携わるボランティアに対する支援とその財源の確保策について、また、地域猫で町おこしをすることについて見解を伺います。

回答 A 犬、猫の殺処分の削減には、市民の協力に加えて、ボランティアやNPOとの協働が重要であり、そのマッチングに向けて山梨県動物愛護指導センター等と連携を図ってまいります。

また、動物愛護事業の財源確保については、ふるさと納税等を活用している他都市の事例も踏まえ、研究してまいります。

なお、地域猫活動を通じた町おこしには、市民の正しい理解や関係者の継続的な協力と支援が必要であり、衛生上の観点からの課題もあることから、まずは、動物愛護精神の市民意識の醸成に努めてまいります。

その他の質問事項

・宝飾産業における海外都市との交流について 他



議会を傍聴して

東海大学付属甲府高校の2年1組40人の生徒が、令和元年6月定例会を傍聴しました。（6月19日）



主な感想・意見

小田翔馬 さん

市民一人ひとりの意見やこれからのことを考えて話していても身になった体験でした。

これからの税についてのことや、保育園、小学校などの給食の無償化など、とても大事な話を聞きました。

これからは、この体験を生かして、どんな話し合いでも一つひとつ考えることが大切だと感じました。

伴野琴美 さん

補聴器の現物支給や購入費についての案はとても良いと思いました。

補聴器は値段が高く、壊れやすいと聞いたことがあります。だから、少しでも値段が安くならしたら、家庭が楽になると思っていたからです。

藤原憲大 さん

キャッシュレスの話の時には、外国の方の視点も視野に入れていて、今後、外国の方が観光や仕事で来るため、しっかりとした文化の違いを理解したいと感じました。

じました。

また、子どものことから高齢者のこと、仕事や政治のこと、スポーツのことまで幅広く問題があり、市民ももっと積極的に興味を持っていかないと問題は減らないと思いました。

山本侑奈 さん

消費税やお祭りのことなど、私たちが暮らしやすくするために話し合っているんだと思いました。

話の内容が難しく分らなかったところもありましたが、ニュースとか新聞とかを見て、政治について少しでも詳しくなれるようになります。



常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

民生文教委員会

(6月定例会)

- ◆議案第55号 令和元年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 他1案
2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、介護保険料の負担軽減について、引き続き全国市長会等を通じ、国に対して強く要望するよう求める意見がありました。
- ◆議案第57号 甲府市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例制定について
全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、事業所等の監査・指導を行う職員体制の一層の充実を求める意見がありました。
- ◆議案第60号 甲府市母子世帯児童就学資金貸付条例を廃止する条例制定について
全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、ひとり親世帯等への支援施策の更なる周知を求める意見がありました。
- ◆議案第54号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第1号)中当委員会所管分
全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

総務委員会

(5月臨時会)

- ◆議案第50号 専決処分について(平成30年度甲府市一般会計補正予算(第8号)) 他1案
2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり承認するものと決しました。
- ◆議案第52号 甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について
全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(6月定例会)

- ◆議案第56号 甲府市森林環境譲与税基金条例制定について
全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、新たな財源を森林の整備や林業の活性化に有効活用するよう求める意見がありました。
- ◆議案第66号 副市長の選任について
地元の官民からの選任も可能であり、国から招聘するというシステムには反対であるとの意見と、本市には、こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTを着実に推進していく上で、第三者的な視点を持った人材が必要であり、国土交通省からの招聘は、その経験やネットワークを最大限に活用し本市の発展に貢献されることが十分期待できるため賛成であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり同意するものと決しました。
- ◆議案第59号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について 他1案
2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

環境水道委員会

(6月定例会)

- ◆議案第54号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第1号)中当委員会所管分
全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、地球温暖化対策事業費については、更なるクリーンエネルギーの推進に向けて、新たに助成対象となった住宅用蓄電池の代替となる電気自動車についても検討するよう求める意見がありました。
- ◆議案第58号 市町村から委託を受けて非常災害により生じた廃棄物の処分を行うための一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例制定について 他1案
2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済建設委員会

(6月定例会)

- ◆議案第54号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第1号)中当委員会所管分
全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、地場産業対策事業費については、トップセールス等による海外への販路開拓を行い、本市地場産業の一層の活性化につなげていくよう求める意見がありました。また、動物園管理事業費については、遊亀公園附属動物園開園100周年記念イベントを通して、公園・動物園の役割や使命を多くの方々に周知するよう求める意見がありました。
- ◆議案第62号 甲府市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について 他2案
3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

令和元年6月定例会 審議結果

件名等	議決月日	結果	政友クラブ	創政こうふ	公明党	こうふ未来	日本共産党	社会民主党	無所属
議案第54号 令和元年度甲府市一般会計補正予算(第1号)	6月26日	可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号 令和元年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号 甲府市森林環境譲与税基金条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号 甲府市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号 市町村から委託を受けて非常災害により生じた廃棄物の処分を行うための一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号 甲府市母子世帯児童就学資金貸付条例を廃止する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号 甲府市介護保険条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号 甲府市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号 甲府市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号 訴えの提起について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号 工事請負契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号 副市長の選任について	//	同意	○	○	○	○	×	×	○
甲議第4号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書提出について	//	可決	○	○	○	○	○	○	○
甲議第5号 リニア中央新幹線の新駅周辺の住民へ真摯かつ丁寧に対応するよう求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○	○
甲選第8号 第一奥仙丈山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	//	当選	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対

《甲府市議会党派等》

政友クラブ ◎池谷陸雄 荻原隆宏 原田洋二 鈴木 篤
岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 小澤 浩
末木咲子 深沢健吾 鮫田光一
創政こうふ ◎清水 仁 金丸三郎 奥石 修 山中和男
天野 一 小沢宏至 望月大輔 寺田義彦

公明党 ◎兵道顕司 植田年美 中村明彦 長沢達也
堀とめほ
こうふ未来 ◎廣瀬集一 神山玄太 藤原伸一郎 川崎 靖
日本共産党 ◎清水英知 木内直子
社会民主党 山田 厚
無所属 山田弘之

◎は会派代表者

◆第一奥仙丈山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙当選者

〈池田地区〉 帯金芳文 内藤 勇 五味勝人 長田 亨
〈羽黒地区〉 望月忠夫
〈千代田地区〉 角田源太郎 久保寺修治 末木正三
末木正文 (敬称略)

●全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より

在職20年表彰 山田 厚

●山梨県市議会議長会より

2年以上正副議長経験表彰 鈴木 篤

議案第66号 副市長の選任について同意いたしました。



うみむら のぼる
上村 昇

(略歴)

平成4年4月 建設省採用
平成17年4月 島根県土木部土木総務課長
平成22年7月 国土交通省河川局総務課企画官
平成29年7月 総務省消防庁国民保護・防災部参事官

令和元年6月定例会 請願審査結果

番号	件名	付託委員会	結果
第1-1号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	総務	継続審査
第1-2号	核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	//	//
第1-3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	//
第1-4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
第1-5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
第1-6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	経済建設	//

リニア中央新幹線の新駅周辺の住民へ 真摯かつ丁寧に対応するよう求める意見書

今年2月に山梨県知事に就任した長崎幸太郎知事は、JR東海や山梨県が進めてきたリニア中央新幹線の新駅建設と周辺開発について、これまでの基本計画を白紙化して新計画を策定する方針を示した。加えて、大津町に建設予定であった新駅については、駅位置を再考する可能性に言及している。今月12日に開会した山梨県議会6月定例会の所信表明においては、民間資本の誘致方針や中間駅の整備内容などを示すビジョンを本年度中に策定する方針を示した上で、駅位置について「将来の交通体系の在り方や県内経済への波及効果を見据え、ビジョンの検討段階で示したい」と述べている。

新駅は平成23年の横内正明知事の時代に、リニア整備に関する期成同盟会の同意を取り付けてJR東海に要望、決定した経緯がある。当時の横内知事は、大規模商業地の誘致などによる市街化はしない方針を示したのに対し、平成27年に就任し

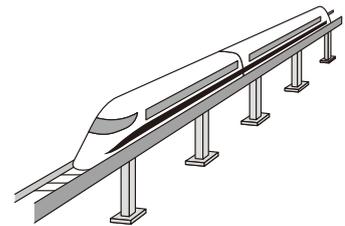
た後藤齋知事は、新駅周辺に観光交流施設や産業振興施設を集積させる構想を示して、計画を軌道修正した。さらに、平成28年12月には新駅周辺に総合球技場の建設計画が浮上し、約半年後に別の候補地で建設方針が決まるなど、駅位置が大津町に決定した以降、建設計画やまちづくりのビジョンが定まらずに二転三転を繰り返している。その度、大津町や西下条町また周辺住民は振り回されているのが現状である。

JR東海は民間企業であるが、リニア中央新幹線は国家プロジェクトとして建設が進み、山梨県は新駅周辺開発が山梨発展の大きな機会になるとして取り組みを進めてきた。その中で、当初はリニア建設に反対であった住民の方々も、「地域発展のためなら」と協力に転じてきた方々も多くいる。長崎知事は駅の位置選定について「数字を根拠」として、再考する考えを示しているが、県行政に、県発展に協力してきた住民がい

ることを忘れてはならない。駅位置について、これまでの山梨県と新駅周辺の住民が積み重ねてきた交渉の内容や経過を重んじるとともに、行政の継続性と住民との信頼関係の構築を重視すべきである。

以上の理由から、リニア中央新幹線の新駅周辺開発及び駅位置については、甲府市民である住民へ真摯かつ丁寧に対応を行い、住民の不安を取り払って信頼関係の構築に努めることを強く求める。

○令和元年6月27日に山梨県知事に提出しました。



新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやし

の場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

本市においては、平成18年3月に合併した上九一色地区が過疎地域に指定されており、この地区が果たしている多面的・公益的機能は市民共有の財産であり、この地区の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き、総合的な過疎対策を充実・強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

○提出先
内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣 農林水産大臣
国土交通大臣

議会日誌

4月12日(金)	山梨県市議会議長会	6月7日(金)	新人議員の公共施設視察研修
4月23日(火)	市議会議員当選証書付与式、 議員説明会	6月10日(月)	議会運営委員会、 会派代表者会議
5月10日(金)	全員協議会、新人議員研修会	6月11日(火)	全国市議会議長会
5月13日(月)	会派代表者会議	6月13日(木)	6月定例会開会、提案理由の説明、 広報委員会
5月15日(水)	5月臨時会招集告示	6月18日(火)	本会議(質疑及び市政一般質問)
5月17日(金)	会派代表者会議	6月19日(水)	
5月22日(水)	所信表明会、5月臨時会開会、 議長選挙、会派代表者会議、 副議長選挙、議会運営委員会、 各常任委員会、本会議(提案理由 の説明、総務委員会付託)、	6月20日(木)	議会運営委員会、本会議(提案理 由の説明、各常任委員会付託)、 会派代表者会議
	総務委員会、議会運営委員会、 本会議(総務委員長報告、採決)、	6月21日(金)	常任委員会(総務・民生文教)
	5月臨時会閉会	6月24日(月)	常任委員会(経済建設・環境水道)
5月29日(水)	都道府県庁所在都市議長会、 関東市議会議長会	6月26日(水)	議会運営委員会、本会議(各常任 委員長報告、採決)、6月定例会 閉会、議会運営委員会、 議会運営委員会小委員会
5月31日(金)	議員互助会総会	7月4日(木)	広報委員会、正副委員長会議
6月6日(木)	6月定例会招集告示		

編集後記

改選後、新たな広報委員会は女性議員3人を含めた8人でスタートいたしました。本号の編集にあたりましては、女性の視点を活かしながら、皆様に親しみのある、わかりやすい紙面となるよう努めたところです。今後、開かれた議会を目指し、積極的な情報発信に取り組んでまいります。

9月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
9/2	3	4 本会議 (開会)	5 休会	6 休会	7	8
9	10 本会議 (市政一般質問)	11	12 休会	13 常任 委員会	14	15
16	17 常任 委員会	18 休会	19 本会議	20 決算審査 特別委員会	21	22
23	24	25 決算審査特別委員会	26	27	28	29
30 決算審査 特別委員会	10/1 休会	2 本会議 (閉会)	3	4	5	6

本会議や委員会などはどなたでも傍聴できます。なお、本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継を行います。また、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映する予定です。

甲府市議会広報委員会

委員長：金丸三郎 副委員長：植田年美

委員：深沢健吾 寺田義彦 堀とめほ 神山玄太 木内直子 山田弘之

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉